

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援センターハーテスⅢ
住 所	兵庫県尼崎市潮江1丁目20-21 フレッシュコア潮江 2階
電話番号	06-6435-9931

事業所番号	2813007420
管理者名	山川典子
対象年度	2025（令和7）年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15	
就業規則等で定めている	○		
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている	○		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている	○		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
小計（注1）		6	点

（※） 8項目の合計点に応じた点数数

（注1） 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	15
参加した職員が1人以上参加している			
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	
1 回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ		○	
いずれか一方のみの取組を行っている			
④販路拡大の商談会等への参加		○	
1 回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置		○	
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		5	点
（※） 8 項目の合計点に応じた点数（注2） 5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点			

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動		-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方		0点	5点	15点					
支援力向上		0点	5点	15点					
地域連携活動		0点	10点						
経営改善計画		-50点	0点						
利用者の知識・能力向上		0点	10点						

合計

150

点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（2025（令和7）年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,567.25	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,706	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.15	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（2023（令和5）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,298,486	円	利用者に支払った賃金総額	27,493,749	円	収支	1,804,737	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（2024（令和6）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	22,941,722	円	利用者に支払った賃金総額	22,271,796	円	収支	669,926	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（2025（令和7）年度）

生産活動収入から経費を除いた額	26,858,000	円	利用者に支払った賃金総額	24,084,731	円	収支	2,773,269	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☒
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	ピア・サポート入門講座
研修講師	升間講師
実施日・受講者数	8月 2日 5人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	大阪府立東中百舌鳥高等学校 職員研修
実施日	6月 25日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	就労A型ワークワーク
実施日/参加者数	12月 5日 1人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	異業種交流会
主催者名	全国福利厚生共済会
日時	11月 2日
内容	参加企業との名刺交換を行い、事業についての説明を伺いました

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☐
◎当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☒
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	☒
※配置期間	4月 1日～ 3月 31日
就業時間	10:00～15:00
職務内容	生活支援員

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ライフワーク株式会社 就労支援センター ハーデスⅢ
住 所	兵庫県尼崎市潮江1-20-21 フレッシュコア潮江2階
電話番号	06-6435-9931

事業所番号	2813007420
管理者名	山川 典子
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所 株式会社 白龍堂 実施日程 2025年5月15日 実施した生産活動 施設外就労の概要 月曜日～土曜日 9：30～17：00の間 ユニフォームのクリーニング検品作業、 ハンガー掛け、仕上げ業務、洗浄作業 利用者数 等 参加した利用者は4名	<活動の様子>  
<目的> 地域連携活動のねらい 障がいのある方が実際の職場で働く経験を積むことで、将来の一般就労へ向けた自信を育む機会となっている。 地域にとってのメリット 当社のユニフォームレンタル事業を通じ、地域の企業へ安全性と信頼性のあるユニフォームを提供できるため、地域の産業活動を支える一助となっている。 対象者にとってのメリット 利用者が社会の一員として役割を果たすことで達成感を得られ、自らの成長を実感しながら「誰かの役に立っている」という自信に繋がっている。	
<成果> 実施した結果 社内では障がいのある方に対する理解が深まり、現場スタッフからの評価や信頼も以前より高まった。 得られた成果 一般就労へ進む利用者も見られるなど、次の段階へ進むための基盤づくりに繋がっている。 課題点 利用者がより安心して業務に取り組めるよう、作業環境やサポート体制の改善を進め、スムーズに作業できる環境づくりを強化していくことが今後の課題である。	

連携先の企業等の意見または評価			
【連携した結果に対する意見または評価】 利用者の皆さまに業務の一部をお願いすることで、当社が抱えていた人手不足の課題が緩和され、生産ラインの安定的な運営に繋がっています。 基本的な作業をお願いできることで、熟練スタッフを必要な工程へ柔軟に配置できるようになり、全体の作業効率が向上しました。また、海外実習生や派遣スタッフとも作業手順を共有する機会が増え、現場全体の技術力向上にも良い効果が出ています。 【今後の連携強化に向けた課題】 障害のある方が継続してスキルを伸ばし、自信を持って働ける環境づくりをさらに進めることが求められます。一般就労へのステップとして成長を実感できる機会を継続的に提供できるよう、より一層の連携体制の強化が必要と考えています。			
連携先企業名	株式会社 白龍堂	担当者名	藤井 充彦

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ライフワーク株式会社 就労支援センターハーテスⅢ	事業所番号	2813007420
住 所	兵庫県尼崎市潮江1丁目20-21 フレッシュコア潮江 2階	管理者名	山川典子
電話番号	06-6435-9931	対象年度	2025（令和7）年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 兵庫県尼崎市潮江1丁目20-21 フレッシュコア潮江 2階 実施日程 2025年 8月2日（土）9:00～13:00 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 ピアサポート研修 利用者数 5名	<活動の様子>  以下のことをグループワークを通して体験的に学んだ。 1 相手の話を聞くためには自分の態度が重要であること。 2 相手の気持ちを考えながら聞くことが大切であること。 3 自分の「強み」を知ることでかけがえのない自分に気づくこと
<目的> 一般就労に向けて、コミュニケーション力を付け、自分の強みを知ることでレジリエンスを高める研修を実施し「協働力」「自己回復力」を強化育成する。	
<成果> 今回初めて参加しピアサポートを知らないと回答した3名は終了時には「とても理解した」「まあまあ理解した」と回答した。 コミュニケーションは苦手だが研修では話すことができたという意見が多く見られた。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

お互いを深く理解した温かい研修でした。ピア・サポートへの関心も高く、楽しく積極的に参加されていました。 自己表現が苦手と言葉にするのに少し時間が必要な方がいらっしゃいましたが、みなさんゆっくり待ち互いを思いやる雰囲気が常にありました。 「強みすごろく」には一番の関心をもたれたようで好評でした。自分には思いがけない「強み」があることを周りの人に指摘され嬉しさが増すように感じました。	
連携先企業（担当者）	NPO法人 Peer do （升間晶子）

利用者からの意見・評価

・自分は人とコミュニケーションを取るのが苦手でしたがこの機会にいろいろ考えることができて意外と楽しかったです。 ・コミュニケーションが意外と取れた。 ・人前で話すのが苦手でもドキドキしながら参加しましたがやってみると少し疲れたけど楽しかったです。すぐには無理だけど上手く人とコミュニケーションを取れるように頑張ります。 ・なるべく自分から話すようにする。
